

非小細胞肺癌・悪性胸膜中皮腫に対する CDDP+Pemetrexed療法

(シスプラチン+アリムタ)

)RPHW_DRPHW_1

2009年06月09日 承認

2014年09月10日 改訂(第11版)

Dr.sign

/

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示(初日)】			
	月 日 ~ ()コース目	コース予定	☐ 調製可 ☐ TEL連絡後調製 ☐ 有 ☐ 無			
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			
			☐ 有 ☐ 無			

【必須項目】

- ☐ 投与7日以上前からパンビタン末1g 1×服用開始
☐ 初回投与の少なくとも7日前にフレスミンS注 1A筋注

Day1 (/)

Day2 (/) ~ Day3 (/)

本管

ソルデム3A 500mL

側管

(5hr)

開始時

(30min)

アロキシ点滴バッグ 50mL/袋
 プロイメンド 1V
 デキサート6.6mg 1A
 (リン酸エステル換算 8mg)

(10min)

生理食塩水 50mL
 アリムタ mg

全開で

生理食塩水 50mL

(1.5hr)

遮光

(2hr)

生理食塩水 300mL
 シスプラチン mg

全開で

ソルデム3A 500mL

(1.5hr)

ビカネイト 1000mL

(3hr)

終了後へパロック

本管

ソルデム3A 500mL

側管

(1.5hr)

開始時

(30min)

生理食塩水 100mL
 デキサート3.3mg 1V
 (リン酸エステル換算 4mg)

マンニトール 300mL

(1.5hr)

ビカネイト 1000mL

(3hr)

Day2は終了後へパロック

【アリムタの投与終了(中止)時の注意事項】

- (1) パンビタン末は、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する。
 (2) フレスミンS注は、投与期間中および投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

全量
mL

【指示】

◇悪心、嘔吐著明時

- (1) ナウゼリン坐薬 60mg
 (2) (1)で無効時、プリンペラン1A iv

◇吃逆著明時

- (1) プリンペラン1A iv
 (2) (1)で無効時、ランドセン 1.5mg 3×開始

◇蓄尿 Day1 (/) ~ Day3 (/)

16:00までに尿量800mL以下のときフロセミド0.5A iv

CDDP+Pemetrexed療法

標準投与量:

CDDP 75 mg/m² day1Pemetrexed 500 mg/m² day1

3-4週毎